

(別添 2)

県道能代五城目線の安全対策に関する

要 望 書

三 種 町

三種町政の推進につきましては、平素より格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本町では、令和8年度に町立統合中学校（三種中学校）が開校を迎えます。

さらに、令和9年度には、山本地域の町立森岳小学校と町立金岡小学校が統合し、新たな町立統合小学校として開校します。

三種中学校については、現在の町立山本中学校敷地内に建設を進めており、統合小学校については、現山本中学校を改修して開校します。

この小・中学校の再編に伴い、現山本中学校付近の通学路については、近隣の児童生徒が徒歩・自転車により登下校し、また、保護者による送迎車やスクールバスの往来も急増することが見込まれておりますところ、令和3年度には、学識経験者、民生委員、PTA・保護者会、校長会、自治会代表及び一般公募により構成された「三種町立小・中学校再編準備委員会」から提出された意見書において、安全対策が課題として提言されており、また、地元自治会からは、数年前から町を経て能代警察署へ信号機の改善要望が提出されております。

警察庁の統計資料によると、児童の交通事故は特に下校時間帯が多く、状態別では歩行中・自転車乗用中が大半を占めておりますので、町としましては、教育委員会、学校、そして地域が一体となって通学路の安全確保の充実強化に努めてまいります。

県におかれましても、上記事情をご賢察いただき、児童生徒の通学路となっている県道能代五城目線の安全対策について、三種中学校開校（令和8年度）までにご対応くださるよう要望いたします。

令和7年2月6日

三種町議会議長 加藤 彦次郎

三種町長 田川政幸

目 次

要 望 項 目

參 考 資 料

児童生徒の通学形態の予測 5

県道能代五城目線と県道森岳鵜川線の交差点における安全対策について

◆ 要望事項

押しボタン式信号機を新たに設置すること

◆ 要望の趣旨

県道能代五城目線に付帯する歩道は、当該交差点において、横断歩道により車道を挟んで反対側に切換っておりますが、信号機は設置されておりません。当該路線はバイパスとして整備されているため交通量が多く、さらに、一般社団法人日本自動車連盟の「信号機のない横断歩道での歩行者横断時における一時停止状況全国調査（2023年調査結果）」によると秋田県の一時停止率が52.1%と決して高い数値ではないことも勘案すると、押しボタン式信号機の設置により、児童生徒の安全対策を講じていただく必要があると考えます。

◆ 要望の現地写真



（県道能代五城目線を北向きに撮影）

県道能代五城目線の山本中学校入口交差点における安全対策について

◆ 要望事項

- 現在の押しボタン式信号機を半感応式信号機へ改善すること
- 横断歩道を新たに設置すること

◆ 要望の趣旨

当該路線の地勢は、能代方面からは長い下り坂でスピードが出やすいうえに緩やかにカーブしているため、当該交差点においては見通しが悪く、町道から県道への車両の進入が大変危険な状況にあります。当該路線はバイパスとして整備されているため交通量の多い現況ですが、統合小・中学校の開校により、保護者による送迎車やスクールバスの往来も急増する見込であることも勘案すると、当該交差点を横断する児童生徒の安全対策としては、半感応式信号機への改善により、車両の適切な交通整理が必要と考えます。

また、当該路線に付帯する歩道は、当該交差点において、横断歩道により接続されておりません。交通量の増加が見込まれる中、町としては、児童生徒が横断歩道のない道路を横断することを認めることはできませんので、横断歩道の設置により、児童生徒の安全対策を講じていただく必要があると考えます。

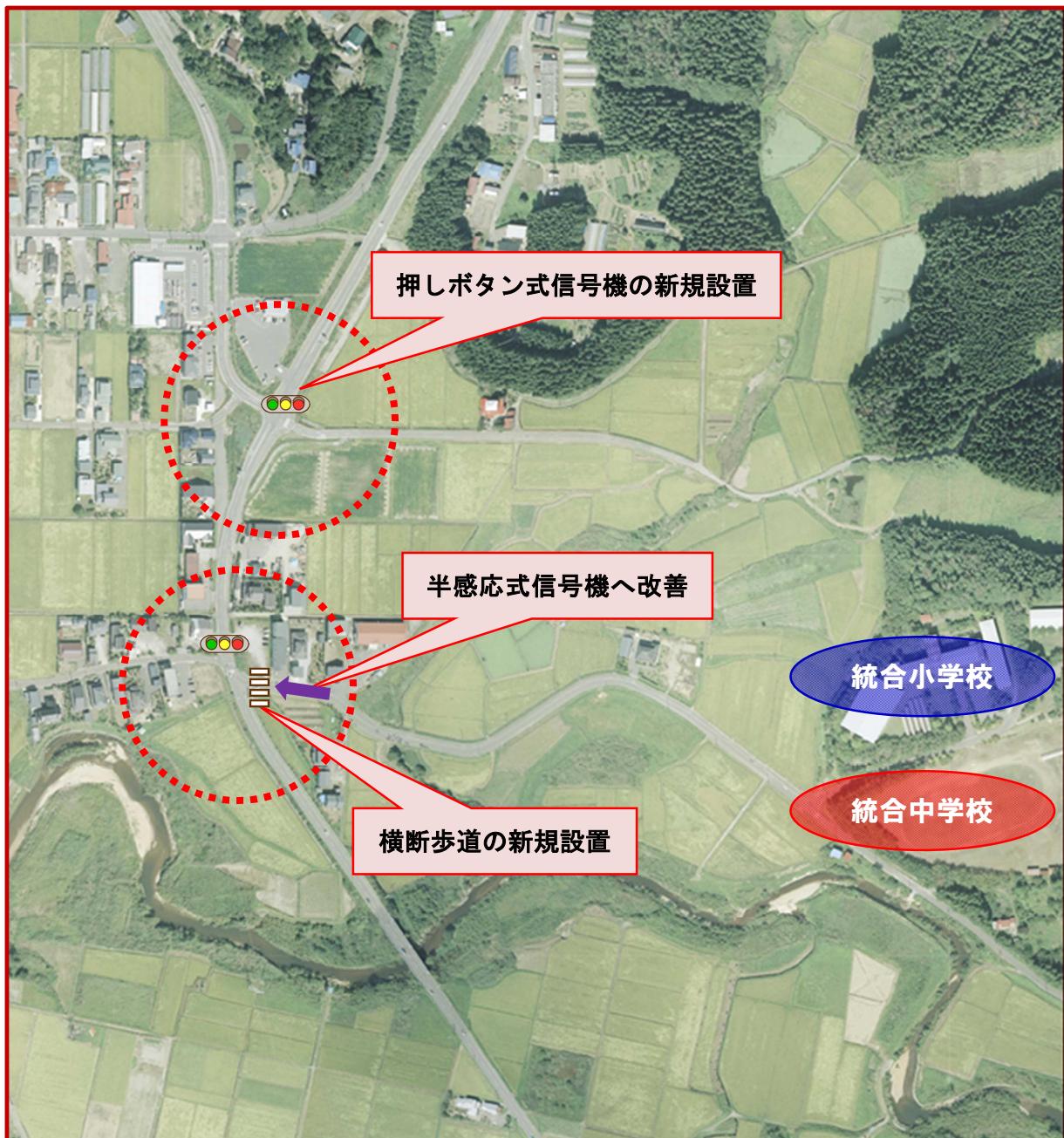
◆ 要望の現地写真



(県道能代五城目線を北向きに撮影)

< 要望の位置図 >

↑ 能代方面



↓ 五城目方面

児童生徒数の推計

◆ 統合中学校（三種中学校）に係る生徒数の推計

（単位：人）

中学校名	令和6年度 [2024]	令和7年度 [2025]	令和8年度 [2026]	令和9年度 [2027]	令和10年度 [2028]
琴丘中学校	64	61	237	216	220
山本中学校	98	88			
八竜中学校	100	94			
計	262	243	237	216	220

◆ 統合小学校に係る児童数の推計

（単位：人）

小学校名	令和6年度 [2024]	令和7年度 [2025]	令和8年度 [2026]	令和9年度 [2027]	令和10年度 [2028]
森岳小学校	117	118	113	158	138
金岡小学校	51	54	53		
計	168	172	166		

◆ 統合小中学校に係る児童生徒数の推計

（単位：人）

小中学校名	令和6年度 [2024]	令和7年度 [2025]	令和8年度 [2026]	令和9年度 [2027]	令和10年度 [2028]
統合小学校	0	0	0	158	138
統合中学校	(98)	(88)	237	216	220
計	(98)	(88)	237	374	358

※ 括弧書きは、山本中学校の生徒数

児童生徒の通学形態の予測

◆ 統合中学校（三種中学校）開校時 一令和8年度一

○ 登校時間帯	7：30～ 8：00
○ 下校時間帯	15：30～18：30
○ 通学方法	
徒步・自転車	北方向から 18人（生徒18人）
	西方向から 19人（生徒19人）
	南方向から 20人（生徒20人）
保護者の送迎	普通車等 24台
スクールバス	マイクロバス 2台（登校時1便、下校時2便）
	大型バス 6台（登校時1便、下校時2便）

◆ 統合小学校開校時 一令和9年度一

○ 登校時間帯	7：30～ 8：00
○ 下校時間帯	14：30～18：30
○ 通学方法	
徒步・自転車	北方向から 62人（児童48人、生徒14人）
	西方向から 56人（児童41人、生徒15人）
	南方向から 45人（児童24人、生徒21人）
保護者の送迎	普通車等 37台
スクールバス	マイクロバス 2台（登校時1便、下校時3便）
	大型バス 6台（登校時1便、下校時3便）

注 児童生徒数は住民基本台帳による推定値であり、保護者送迎車は現行スクールバスの登校時乗車率（0.8～1.0）を基にした推定値

三種町執行部の要望活動

◆ 歩道設置に関する要望活動（建設課）

年月日	方法	概要
R05. 07. 13	文書	町長（建設課）が山本地域振興局建設部長に、令和5年度山本管内建設関係要望等を提出 ・ローソン山本森岳店交差点から山本中入口交差点にかけて歩道設置等を新規要望
R05. 08. 01	口頭	三種町通学路合同点検において、建設課職員が山本地域振興局建設部職員に、ローソン山本森岳店交差点から山本中入口交差点にかけて歩道設置等を要望
R06. 07. 10	文書	町長（建設課）が山本地域振興局建設部長に、令和6年度山本管内建設関係要望等を提出 ・ローソン山本森岳店交差点から山本中入口交差点にかけて歩道設置等を継続要望
R06. 08. 02	文書	主要地方道能代五城目線・三種町道路建設促進期成同盟会の総会において、町長と同盟会会長（三種町議会議長）が山本地域振興局長、建設部長及び建設部企画建設課長に、要望書を提出 ・ローソン山本森岳店交差点から山本中入口交差点にかけて歩道設置等を要望
R06. 08. 06	口頭	山本地域振興局との意見交換会において、建設課長が山本地域振興局建設部長に、ローソン山本森岳店交差点から山本中入口交差点にかけて歩道設置等を要望
R06. 09. 19	口頭	現地立会において、建設課職員が山本地域振興局建設部保全・環境課職員に、ローソン山本森岳店交差点から山本中入口交差点にかけて歩道設置等を要望
R06. 10. 25	文書	主要地方道能代五城目線・三種町道路建設促進期成同盟会の要望活動において、町長と同盟会会長（三種町議会議長）が山本地域振興局長及び秋田県建設部長に、要望書を提出 ・ローソン山本森岳店交差点から山本中入口交差点にかけて歩道設置等を要望 【回答】 学校の通学路には片側に歩道が整備されている。 県道森岳鵜川線との交差点の安全対策については、教育機関や警察署等と協議しながら進める。

◆ 信号機設置に関する要望活動（町民生活課）

年月日	方法	概要
R05. 07. 11	口頭	町民生活課長が能代警察署交通課長及び巡査部長に、ローソン山本森岳店交差点への信号機設置と山本中入口交

		差点の押しボタン式信号機を感応式信号機へ改善するよう要望 【回答】 重大事故が発生していないため今すぐとは言えないが、統合中学校開校まで交通量増加を考慮し設置を検討する。
R06. 07. 22	文 書	町長（町民生活課）が能代警察署長に、統合小・中学校の通学路安全対策に関する要望書を提出 ・ローソン山本森岳店交差点へ新信号機設置を要望 ・山本中入口交差点の押しボタン式信号機を感応式信号機へ改善及び横断歩道設置を要望
R06. 08. 22	文 書	能代警察署長からの回答 ①ローソン山本森岳店交差点への新信号機設置は見送る。 理由：当該交差点に信号機が設置された場合、付近道路を通過する車両への影響が大きいと考えられるため。 ②山本中入口交差点の感応式信号機の改良及び横断歩道の設置等を秋田県警察本部交通部交通規制課へ要望している。 理由：交差点における交通事故防止の観点から改良が必要と判断したため。
R06. 10. 18	口 頭	能代警察署交通課からの回答 ・秋田県公安委員会の回答を電話で伝えられる。 ①山本中入口交差点の押しボタン式信号機を感応式信号機への改善は見送る。 理由：統合中学校開校に伴う交通量変化が不明なため。開校してから再度要望してもらいたい。 ②横断歩道設置も見送る。 理由：交通量が少ないため横断歩道がなくても渡れると判断したため。

◆ 統合小・中学校の通学路安全対策検討会（教育委員会、町民生活課、建設課）の協議

年月日	方法	概 要
R06. 11. 01	—	今後の方針について協議 ・ローソン山本森岳店交差点へ防護柵と押しボタン信号機の新設要望 ・山本中入口交差点に横断歩道新設と感応式信号機への改善要望 ・整備が開校に間に合わなかった場合の対応を検討

三種町議会の決議

◆ 経緯

三種町議会環境厚生委員会は、町執行部は県執行部及び県公安委員会に対し、統合小・中学校の通学路となっている県道の安全対策について、どのような要望活動を展開しているのかを調査していたところ、県執行部等からの回答について、三種議会として看過すべきではないと判断したため、次の決議案を令和6年12月議会定例会に提出し、全会一致で可決されました。

◆ 三種町議会の決議

秋田県に統合小・中学校の通学路となる県道能代五城目線の 安全対策を求める決議

当町では、山本中学校敷地内に、令和8年度開校に向けて統合中学校が建設中であり、また、山本中学校は、森岳小学校と金岡小学校の統合小学校として開校するための準備が進められている。

この統合小・中学校の通学路には県道能代五城目線が含まれており、当該路線は、秋田県の所管である。

そのため、当町の執行部は、児童生徒の安全対策に万全を期すべく、県に対して、県道能代五城目線と県道森岳鶴川線の交差点（森岳ローソン交差点）に新規信号機の設置や、山本中学校入口交差点の感応式信号機への改良・横断歩道の設置を要望してきたところである。

しかし、県においては、「付近道路を通過する車両への影響が大きい」「統合中学校開校に伴う交通量変化が不明」などの理由により、当該要望は見送るとの回答であった。さらに、山本中学校入口交差点への横断歩道設置についても、「交通量が少ないため横断歩道がなくても渡れる」と、児童生徒の安全性には一切の配慮が見られない回答であった。

当該交差点付近は、能代方面からは下り坂で自動車のスピードが出やすいため、現在も交通事故が多発し、児童生徒や保護者だけでなく、地域住民からも不安の声が上がっている。また、全国各地においても、登下校中の児童生徒が自動車に巻き込まれるという痛ましい交通事故が数多く発生していることから、現状を看過することはできない。

よって、当町議会は町長と連携し、秋田県議会並びに秋田県知事及び秋田県公安委員長に対して、統合小・中学校の通学路となる県道能代五城目線の安全対策を強く求めることとする。

以上、決議する。

令和6年12月13日

秋田県三種町議会

